研修会報告

“宇宙ビジネス最前線”

講演者：JAXA　ワシントン駐在員事務所長　小野田勝美氏

研修担当理事：小暮　美怜
角道　高明

2023 年 2 月 17 日（金）、ワシントン日本商工会は、JAXA ワシントン駐在員事務所長の小野田勝美氏をお迎えして、「宇宙ビジネス最前線」というテーマで、オンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。

小野田氏は、1995 年に NASDA（現 JAXA）に入社後、一貫して宇宙事業の最前線を担ってこられた日本の第一人者です。1999 年には国連宇宙部に派遣され、地球観測衛星に関する国際調整に従事されたほか、2003 年には JAXA 関西サテライトオフィスにて小型衛星技術移転に関わってこられました。2009 年には京都大学大学院地球環境学堂地球環境学の博士号を取得され、同年より地球観測政府間会合（GEO）の事務局としてジュネーブで勤務され、2018 年よりワシントン事務所長を務められています。自ら宇宙飛行士の選抜テストを受けられた経験をお持ちの小野田さんから、「宇宙ビジネス最前線」について、NASA の映像やロケットの模型を使いながら、初心者向けに解り易く説明して頂きました。

米ソ冷戦時代の米国とソ連（当時）による宇宙開発競争の結果、人類は 1969 年に米国のアポロ計画により月面着陸を果たしました。ソ連の崩壊や米国のスペースシャトル計画での大惨事等により、宇宙開発が一時下火になった時期もありましたが、最近になって人類による宇宙開発が再び活発になってきました。セミナーでは、米国のアポロ計画以来半世紀ぶりの有人月面着陸を目指す「アルテミス」計画の最新状況、イーロン・マスク CEO の SPACE X に代表される民間のベンチャー企業と米政府による共同宇宙開発の実態、そして JAXA のワシントンでの活動内容等、初心者向けに大変多岐にわたる宇宙ビジネスのお話を伺うことができました。米国のアルテミス計画に日本が官民両側から大きく貢献していること、宇宙デブリの回収実証が進んでいることなど、我々にとって多くの学びを得られる貴重なセミナーとなりました。

対面のセミナー会場には大勢の参加者が集まり、終始和気藹々とした雰囲気に包まれ、宇宙開発における米中対立等の今日的なテーマについての質問から、オンライン参加者からのロケット燃料に関するかなり専門的な質問まで、小野田氏が平易な言葉で丁寧に回答し

てくださり、双方向の議論が絶えない活発なセッションとなりました。普段はなかなか宇宙事業に触れる機会がない方も多かったかと思いますが、様々な専門家が世界中から集まっているワシントンDC ならではの、生きた情報交換ができる良い会になったと思います。

以上